

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和2年8月31日

公表: 令和2年9月15日

事業所名 スクールセンター未来

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	指導訓練室等は、児童一人当たり国の基準の2.47㎡を超えています。また集団活動が行えるよう、死角がなく指導員の目が届くよう配慮しております。	プログラム活動に合わせ、各個室を使った活動や施設外活動を行いながら、十分なスペースが確保できるように調整を行いつつ、お子様が活動のしやすい環境作りに努めて参ります。
	2	職員の配置数は適切である	3	1	国の定める人員配置の+2. 5名を加配して対応しております。	更なる職員の増加を検討しつつ、職員のスキル向上にも努めて参ります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	1	廊下や階段には、手すりを設置して、お子様の安全に十分な配慮を行っております。また、イラストを貼用して事業所内に明るくしています。玩具も一か所に集約して、お子様がわかりやすくしております。	利用児の必要に応じて、更なるバリアフリー化や設備の切り替え等の対応を検討して参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	空気清浄機を訓練室に配置し、日々拭き掃除やアルコール消毒を行っております。	放課後等デイサービスのお子様も併用される際などは、他のお部屋等も利用して、安全に楽しく活動できるように、支援に努めております。
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	日々、営業開始の前後に全体ミーティングを行っております。	今後、職員間でPDCAサイクルに支援計画をしっかりと構築し、支援に繋げて行ける様に努めて参ります。

業務改善	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1	保護者の皆様から、口頭での助言等を頂いております。	今後、保護者の皆様からの施設評価を用いて、その評価やご意見等を職員間で共有し、業務改善に努めて参ります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	ホームページ内で自己評価のページを作成しております。	保護者の皆様からの施設評価を用いて、その結果をホームページにて公表させていただきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4	現在は公式に外部評価をお願いしてはおりませんが、繋がりのある児童福祉関係者等の意見を参考に業務改善に努めております。	今後、ガイドラインの「可能な限り第三者による外部評価を導入して、事業運営の一層の改善を図る。」を踏まえて、社内検討し実施に努めて参ります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	施設内にて、定期的な研修を年間予定として行っております。	今後は、外部研修も視野に入れ、職員が参加することよりのスキルアップに繋がるように、必要な研修を選択し、全職員が参加できる様に検討していく。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	児童発達支援管理責任者が計画案に基づき、サービス担当者会議でお子様の支援計画案の見直しを行い、計画を作成しております。	定期的な見直しを行い、より分かりやすく、より丁寧な支援計画が作れるよう努めて参ります。
11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	標準化されたアセスメントツールを用いて、保護者の皆様にヒヤリングを行いながら、お子様の適応行動をしっかりと分析しております。	しっかりとアセスメント出来るものを使用しており、誰もがわかりやすい記入用紙を目指しております。今後は状況に合わせて、新様式の作成を検討して参ります。	

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	児童発達支援ガイドラインに基づき、お子様に合わせて、児童発達支援管理責任者が適切な項目を選択し、支援内容を決定している。	今後も項目や支援内容の振り返りを行い、保護者様と確認を取りながら、進めて参ります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	児童発達支援計画に合わせ、個別活動や集団活動を通して、お子様の課題に対し適切に行っております。	児童発達支援計画をもとに、スモールステップで課題をクリアでき、楽しんで活動を行えるよう努めて参ります。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	チーム形成し、プログラム内容を検討し、実施しております。	今後もチームでの立案を継続しつつ、職員誰もが行えるように指導等を徹底して参ります。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	主活動は、季節やその日のお子様に合わせてプログラムを実施し、自由活動では、ドライブや散歩などを実施しております。	今後も状況に合わせて、内容等を変更し実施して参ります。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	0	児童発達支援管理責任者がアセスメントを丁寧に行い、お子様に合わせた、個別活動か集団活動かを選択して作成しております。	今後、より細やかな設定を設け、お子様が楽しみやすく活動できる様、努めて参ります。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	支援前には必ずミーティングを行っています。その日の利用のあるお子様についての支援内容や支援時の留意点、また保護者様からの連絡事項等も確認しております。	今後も継続して、ミーティングしっかりと行って参ります。

18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	支援後には送迎に出していない職員で、振り返りを共有していません。その場にはいない職員は、次のミーティングの際、又は電話連絡にて伝達、確認しております。	今後も継続しつつ、記入用紙を用いるなどしながら、振り返りをしっかりと行って参ります。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1	日々の支援記録について、清掃や消毒の徹底等で、その日のうちに記入が出来ていないが、随時行っております。	今後、業務改善を行い、出来るだけその日のうちに支援記録が記入できるように行って参ります。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	児童発達支援管理責任者が中心になってモニタリングを実施し、適切に見直しを行っております。	今後も継続して、児童発達支援管理責任者がモニタリングを行い、職員の意見も取り入れつつ、見直しを行って参ります。

関係機関や保護者との	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	児童発達支援管理責任者が精通している職員に聞き取りを行い、参加しております。	今後も継続しつつ、精通した職員が参加できる様、検討して参ります。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	子育て支援室(こども福祉課)やおたるエデュケーション等と連携しながら、支援を行っております。	今後も子育て支援室(こども福祉課)やおたるエデュケーション等と、連携を強化しながら努めて参ります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	4	現在は、医療的ケア児の支援は行っておりません。	今後、医療的ケア児を受け入れる場合、医療協力体制のある朝里中央病院さんや小樽市保健所等の各関係機関と連携体制を取り、支援を行っていく様努めて参ります。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	4	現在は、医療的ケア児の支援は行っておりません。	今後も医療的ケア児を受け入れる場合、お子様の主治医との連絡体制を保護者様に確認のもと、整えて参ります。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	定期的に保育園、幼稚園等との情報共有と相互理解を図っております。	今後も定期的な連携を行っていくよう努めて参ります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	各小学校さんや養護学校さんとの、連絡をしっかりと取っております。	今後も各小学校さんや養護学校さんとの、情報共有や相互理解に努めて参ります。

連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	こども発達支援センターさんやさくら学園さん、各事業所に情報共有と研修を受けております。	今後も継続して、さらに専門機関との連携を強め、より良い環境作りやより専門的な知識を得て、お子様に提供できる様努めて参ります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4	コロナ禍もあり、放課後児童クラブや障がいのない子供との交流は控え支援をしております。	9月に予定していたお祭りがあり、来年の情緒を踏まえて、開催できれば地域の方を招待する予定としております。また地域の会館にも開放の検討してもらっており、そちらでも交流を検討しております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	0	小樽市こども支援部会に参加しております。	今後も継続して参ります。他の専門家会議等がある際は、積極的に参加をして参ります。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	連絡帳での日々の内容や、送迎時に状況を説明しております。また、必要時には電話連絡や家庭訪問での面談を行っております。	今後もお子様の発達や状況に合わせ、保護者様と話し合いを継続して、課題の共通理解に努めて参ります。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	0	連絡帳や送迎の際に、利用時の成果等をお伝えして、子育ての参考にしていただければ幸いです。また、保護者様からの電話でのお子様のご自宅での対応等もお伝えしております。	施設とご自宅との課題の違いを見極め、子育てに活かしていける提供していければと思っております。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	見学、契約時に必ず、丁寧に説明を心掛けております。また、保護者様の疑問についても、送迎時や電話での対応をさせて頂いております。	今後も継続して、よりわかりやすく説明を行って参ります。

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	ガイドラインに基づき児童発達支援内容の説明をわかりやすく、保護者様に同意を得て支援を行っております。	今後も継続して、丁寧な説明を心掛けて、保護者様にわかりやすいよう努めて参ります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	連絡帳や送迎の際に、保護者様のお悩みを相談を受けております。また、電話等での対応等もお伝えしております。	定期的に保護者様との面談が出来るように、保護者様と相談をしながら、検討して参ります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	現在、父母の会を開催しておりません。	今後、保護者様に確認の上、父母の会が定期的行えるように、検討して参ります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	相談窓口を設置しております。また、相談があった場合は、管理者に迅速に伝達され、適切に対応できるようになっております。	今後も継続して行い、いつでも相談しやすい事業所である事を心掛けて参ります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	定期的に「未来通信」を発行しております。	今後も継続してつつ、より見やすくわかりやすく広報誌を目指して参ります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	個人情報取り扱いには、施錠された部屋、又は金庫内にて十分な注意を払っております。	今後も継続して、守秘義務を守り、十分な注意を心掛けて参ります。

39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	お子様にあった、視覚支援や聴覚支援を取りれて、見える化など特性に合った伝達を行っております。	お子様の発達に合わせて、有効的な意思疎通や情報伝達方法を、保護者様と相談しながら行って参ります。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	0	日本赤十字社との協力のもと、敷地内での献血の協力を、4町内会に呼びかけを行っております。	今後も継続して年2回の開催を予定しております。また、スクールセンター未来のお祭りが開催出来る情勢であれば、地域の方の招待を検討して参ります。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	1	マニュアルの策定は行っております。マニュアル通りに対応しております。	保護者様への周知が徹底されていない現状があります。迅速に各保護者様にご説明を致します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	9月と3月に防災訓練を定期的に行っております。	今後も必要な災害を想定し、訓練を行っていくよう努めてまいります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	契約時、保護者様にフェイスシートへの記載をお願いし、その際に確信をしております。また、利用開始後の病院受診があった際には、再度確認を行っております。	今後も継続して、お子様の現状を確認を徹底を行い、職員の周知にも努めて参ります。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3	現在、食物アレルギーのあるお子様は、いらっしゃいません。	食物アレルギーあるお子様が利用となった際には、保護者様に確認のもと医師の指示書を拝見させて頂き、職員間で状況共有の徹底を行って参ります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	日々の振り返りやヒヤリハット事例時に、職員間で迅速に話し合っている。また、再発防止のための再確認も行っております。	今後も継続して、職員間での情報共有を徹底しながら、事例集を継続的に作成し、安全対策に努めて参ります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1	定期的に虐待防止の研修を行っております。また、職員にも最新の資料を配布し、適切な対応を行っております。	虐待防止委員会で取りまとめた項目を職員に周知の徹底を図り、虐待防止の啓発に努めて参ります。

	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	2	保護者様には、必要と判断されうるお子様の契約時に説明を行っております。	今後、現在該当者がおりませんが、身体拘束が必要と判断せざる負えない場合の対応を職員会議でしっかり協議し、組織的に決定して参ります。
--	----	--	---	---	-------------------------------------	---

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。